

- 岸和田市では、神於山のナラ枯れし、倒木の恐れのある樹木の伐採が課題となっている。
- このため、危険森林等整備業務として当該樹木の伐採を実施。

□ 事業内容

危険森林等整備業務

- ・ 令和4年度に林道神於山線沿いにあるナラ枯れした樹木を調査。
- ・ 幹周30cm以上且つ転倒時に林道に危険な影響があると見込まれる枯木に目印を設置。
- ・ 樹幹から枝条を切り払ったのち、地際で伐採
- ・ 令和4年度から継続して伐採を実施

【事業費】6,419千円（うち譲与税6,419千円）

【実績】53本を伐採

□ 取組の背景

- ・ 神於山の樹木の適切な管理（間伐等）ができていなかった。
- ・ ナラ枯れの見られる樹木に薬剤を注入し、防虫に努めたが、防ぐことができず、完全に枯死してしまう樹木が多くみられた。

□ 工夫・留意した点

- ・ 山の斜面に植生する樹木であり、近くの架線にも配慮して伐採する必要があるなど、特殊な技術を要することから指名競争入札を実施。
- ・ 枝条や細い樹幹については、環境に配慮する観点からウッドチップ化を実施し、処分する樹木の削減を図った。
- ・ 集中豪雨時における流木の原因とならないように、伐倒樹木の整理を行った。
- ・ 新たに見つかったナラ枯れした樹木の伐採も実施した。

□ 取組の効果

- ・ 林道神於山線を安全に通行できるようになった。
- ・ 伐採した樹木の周りに日が差し込むようになった。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：24,780千円	②私有林人工林面積（※1）：1175ha	
③林野率（※1）：26.7%	④人口（※2）：190,658人	⑤林業就業者数（※2）：8人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より



（伐採前の一例）

（伐採後の一例）

（伐採後の一例）

- ▶ 岸和田市では、林業の低迷や森林所有者の高齢化・世代交代などにより森林管理の不十分さや所有者情報の不明確さが課題となっている。
- ▶ このため、森林の現況を把握するため、現況の調査を踏まえ、森林ゾーニング図の作成を実施。

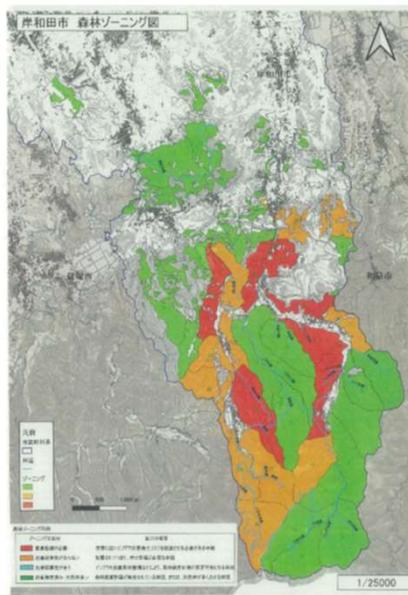
□ 事業内容

岸和田市森林整備準備業務

- ・ 林班単位のゾーニング図の作成。
- ・ 林班単位の現況図面の作成。
- ・ 林班単位の調査票の作成。

【事業費】 5,570千円（うち譲与税5,570千円）

【実績】 市内全域のゾーニング図
整備が必要な林班の現況図面及び調査票



□ 取組の背景

- ・ 岸和田市では、森林管理の不十分さや所有者情報の不明確さが浮き彫りになっていることから、森林の現況を把握することができていなかった。
- ・ 森林ゾーニング図の作成及び現地調査を行うことで、岸和田市の森林の現況を把握することに努めた。

□ 工夫・留意した点

- ・ 市内全域の林班を以下の4種類に区分した。
 - ①緊急整備エリア
 - ②森林経営計画策定困難エリア
 - ③森林経営計画策定可能エリア
 - ④整備不要エリア
- ・ 区分を決める際に、地元で懇談会を開き、地元の意見を取り入れた。
- ・ ①②のエリアの現地調査を行い、現況図面と調査票を作成した。

□ 取組の効果

- ・ 岸和田市の森林の現況を把握することができたため、今後の森林整備の方針を立てることが可能となった。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：24,780千円	②私有林人工林面積（※1）：1175ha	
③林野率（※1）：26.7%	④人口（※2）：190,658人	⑤林業就業者数（※2）：8人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 岸和田市では、アドプトフォレスト活動やまちづくり協議会の自然保全活動が盛んになってきているが、活動エリアに通じる進入路が手つかずの状態、管理や自然保全活動の拡大が困難となっているのが課題となっている。
- 継続した管理、活動を推進するため、進入路等の整備を実施。

□ 事業内容

丘陵地区整備事業進入路整備工事(その1)

- ・ 除草、伐採
- ・ 舗装
- ・ 排水工

【事業費】5,017千円（うち譲与税5,017千円）

【実績】除草伐採：300㎡
AS舗装：70㎡ 砕石舗装：563㎡

□ 取組の背景

- ・ 樹木、竹林の適切な管理ができていなかった
- ・ 自然保全活動などに関心のある企業や団体が活動場所として望まれている



（整備前）



（整備後）



（整備後の植樹活動）

□ 工夫・留意した点

- ・ 周辺で活動している、団体や企業と協議をし、もりづくりについて協議しながら進めた。
- ・ 過度な整備にならないよう舗装を最小限にとどめた。

□ 取組の効果

- ・ 進入路が確保できたことにより、伐採活動や植樹活動が更に活発になった。
- ・ チッパー等の搬入ができるようになり、伐採木や伐採竹のチップ化も実現した。
- ・ 竹伐採に伴い周辺に日が差し込むようになった。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：24,780千円	②私有林人工林面積（※1）：1175ha	
③林野率（※1）：26.7%	④人口（※2）：190,658人	⑤林業就業者数（※2）：8人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より